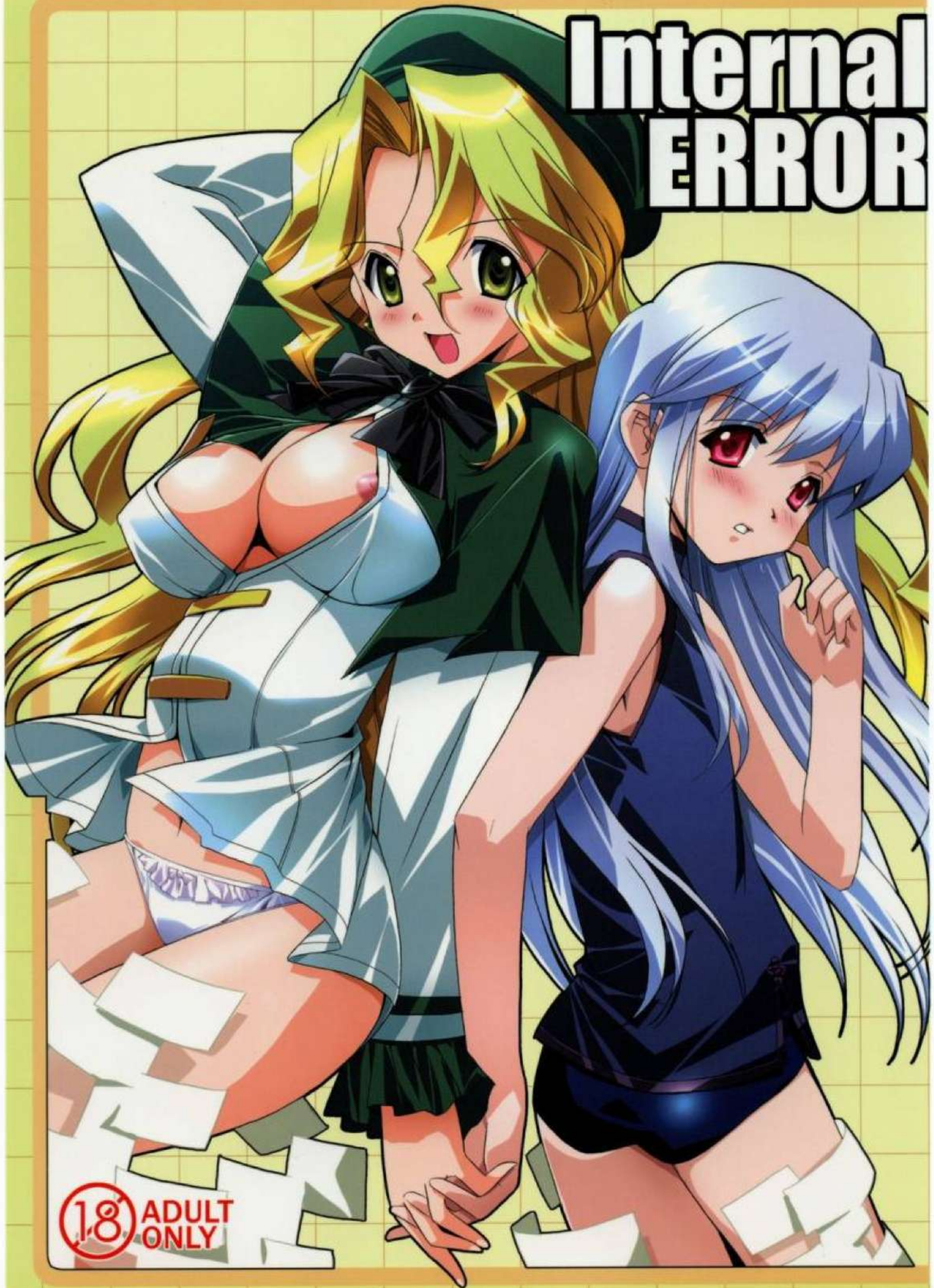
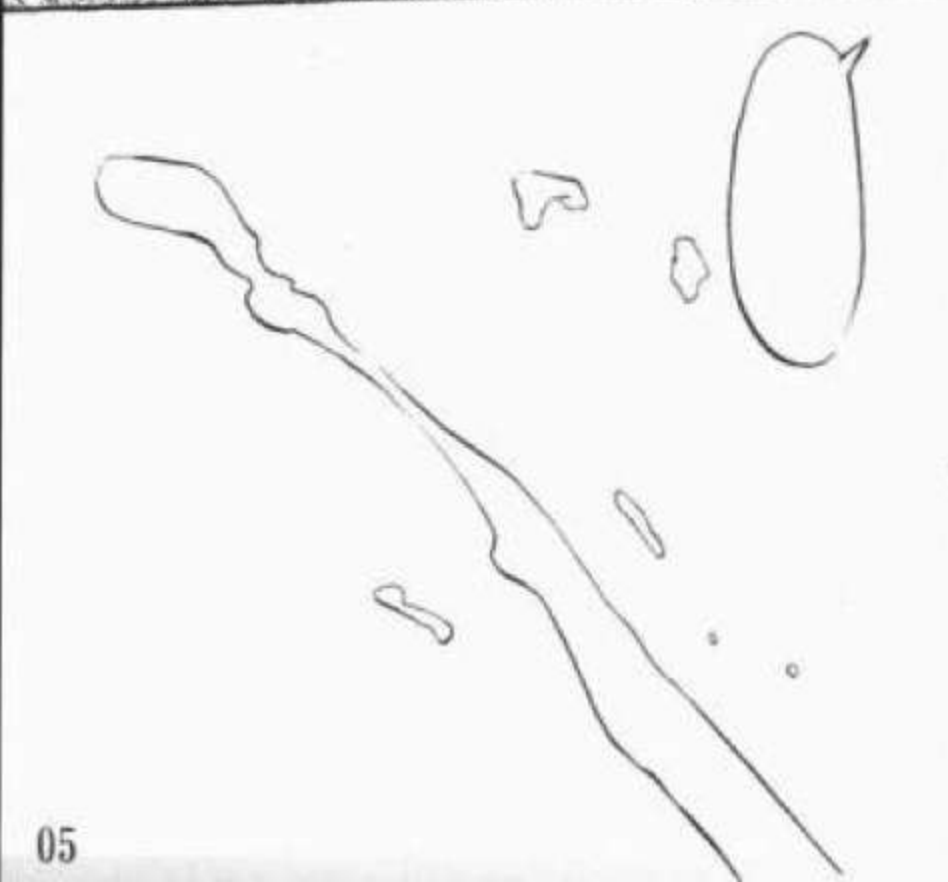
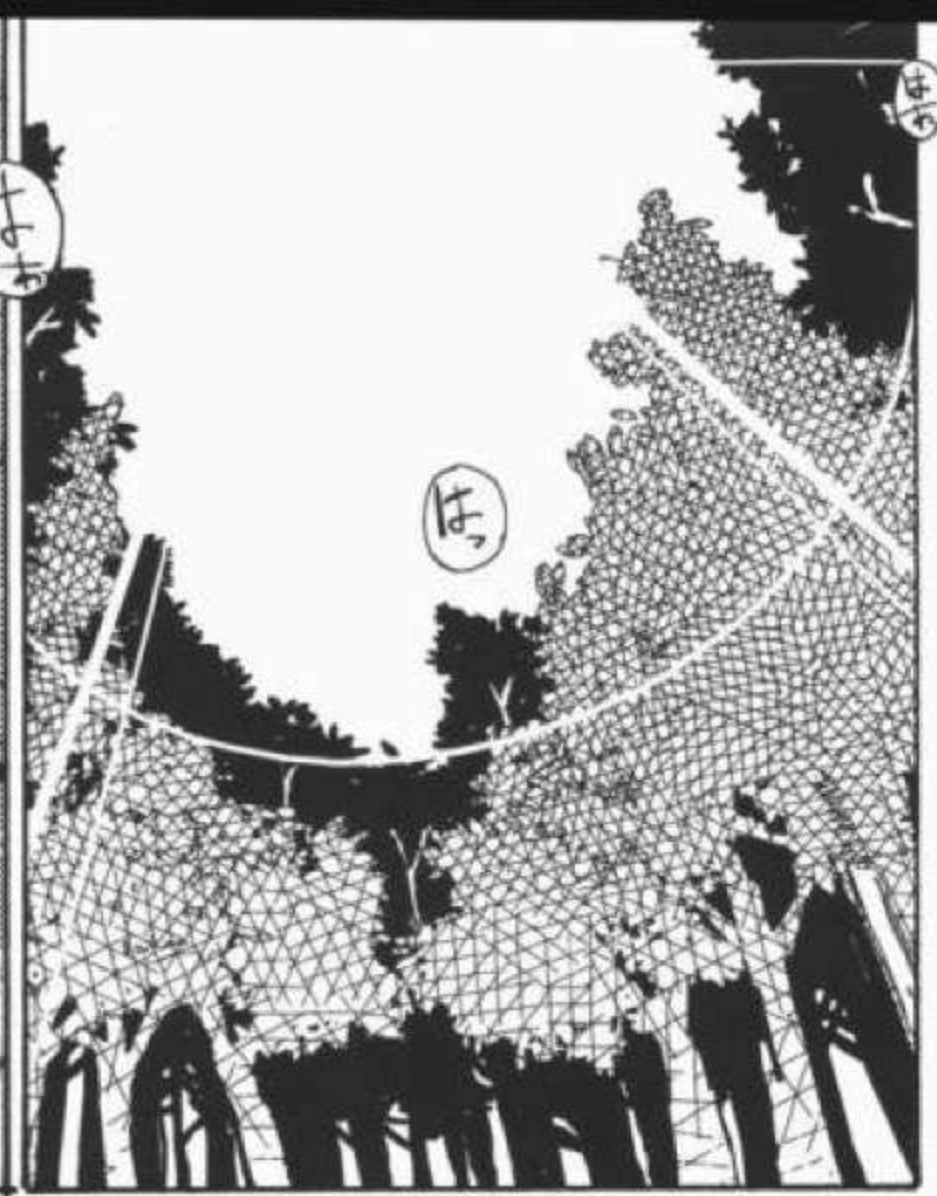


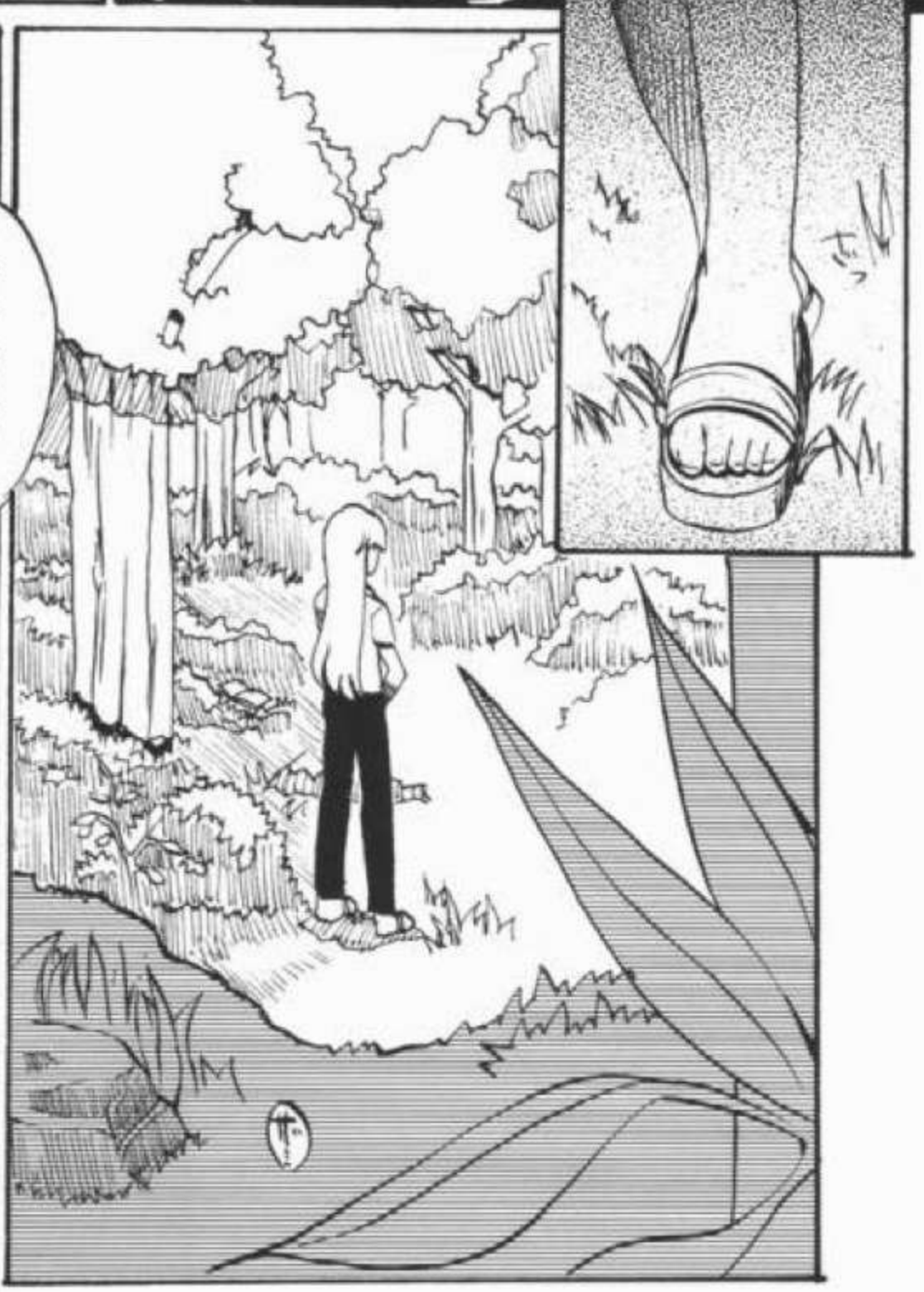
Internal ERROR



18 ADULT ONLY









あ、あの…

何しろの

こんな所で

別に…

は じ め に 軀 あ り き

木屋権

み、ミシエールさん
こそ、何で
ここに……？

最近、たまに
帰りが
遅いから

どうしたの
かなー、って思って
ここまで来たの。

あー、
久々に外へ出たら
朝日が黄色いわーっ

すみません……

すぐ
昼食作りますから

もう戻ります。

いいよ

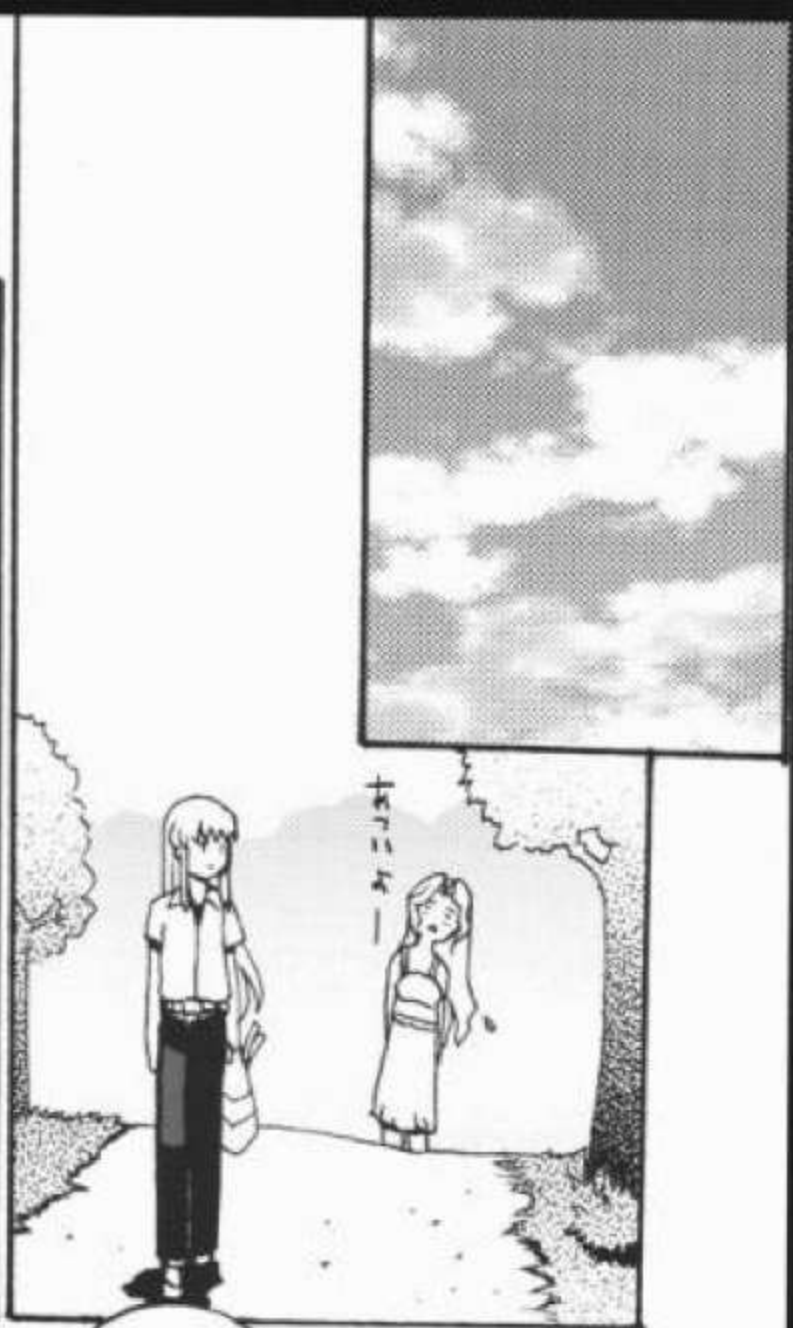
それより、もう少し
ここで休んで
行きましょ？

ぼ、僕は
ご飯の仕度が
ありますから

先に
行きますよ！

えーっ

待ってよ、
ジュニアくん



そんな時、あの場所で
偶然あの本を見つけた

自分の手と、あの本で

自分を慰めれば
やましい気持ち
塗りつぶすせると思っていた

でも...



ジュニア君?

さっきから
変みたい
だけど

あ...

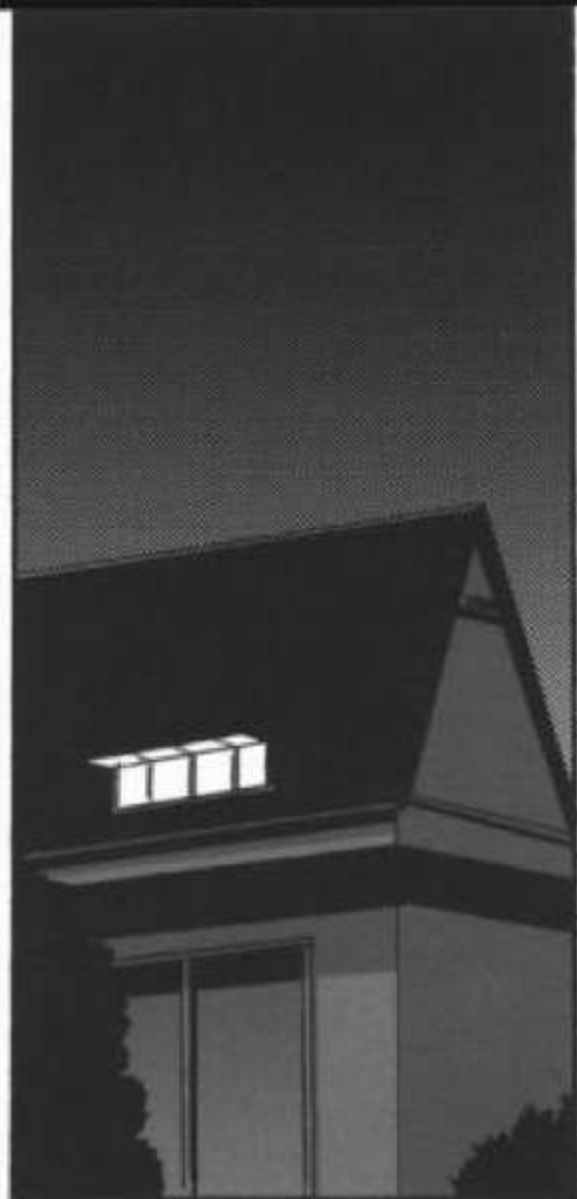
あ...

その手は...

!!

!!







あ



あの…
僕

ミシエールさん
にお話があつて…

その…



あ…

きんぎょ

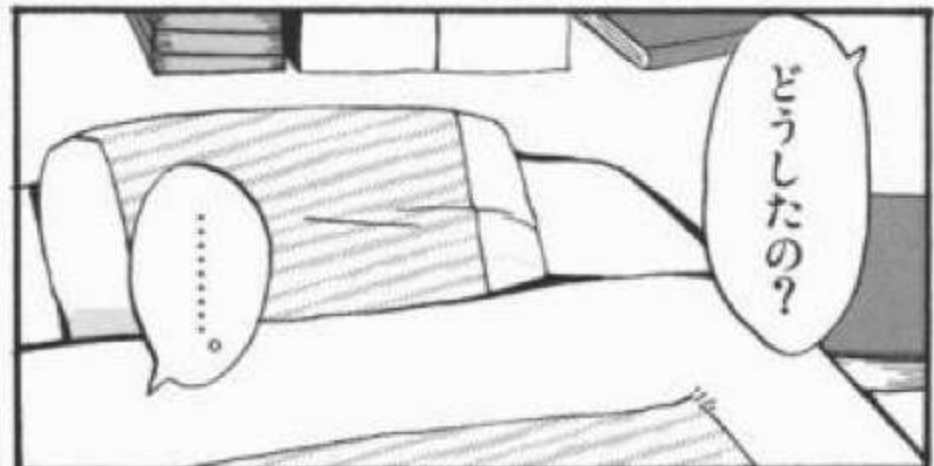


私もよ



髪の毛、まだ
濡れてるわね

私の部屋で
お話しましょ





私もあの場所を知っていたからよ

私が覚えてた
記憶をいけど。

……って言うのは嘘



女の勘?

セアロ
センス?

な、
何で……?



ね、ジュニアくん。
Hなことに
興味持つのは
男の子なら普通のことだし、

私ははむしろ
そういうの寛容な
ほうというか……

いい
いえ……

あの本に興味があった
だけじゃないんです。



……違うんです。

ミシエールさんと一緒にいると、
僕、すごくやらしい気持ちで
一杯になっちゃうから……



……だから……



…待って



明日からはこんな事
無いようにしますから…



…
ごめんなさい、
僕、行きます。



…どうも…

…ねえ、ちょっとだけ
Hなことしてみようか？

キーンヤッ



それとも…
私じゃイヤ？



…したい、です…



そ、そんなこと
ないです！
僕は…あの…



私だって

Hな事とか考えることは
沢山あるのよ





み…ミシエール
さんの…



…ね?

…きゅん
…きゅん



あ…ご、ご
ごめんなさい

ジュニア君て
おっぱい好き?



でき、ちょっと
待って

いいよ



やん、
ジュニア君たら
いきなりっ

ピクピク
ピクピク



あっ
だめ



…固く
なってきた…



やん

わ、私…
すごく感じてるっ

嘘っ



あっ



じゅ、ジュニア君、ズボン履いたままじゃ窮屈じゃない？

あっ、こ、これは



あっ

お、おっばいだけでイっちゃいそう…



私だけ裸なんて不公平でしょ？

ズボンだけ…？

パンツも！

…はい…



ぼ、僕の？
でも…

…恥ずかしいし…

僕、おんないをけても別に満足では？



…ね？

私もジュニアくんのおちんちん見たいな…



ちゅと
怖いかも...

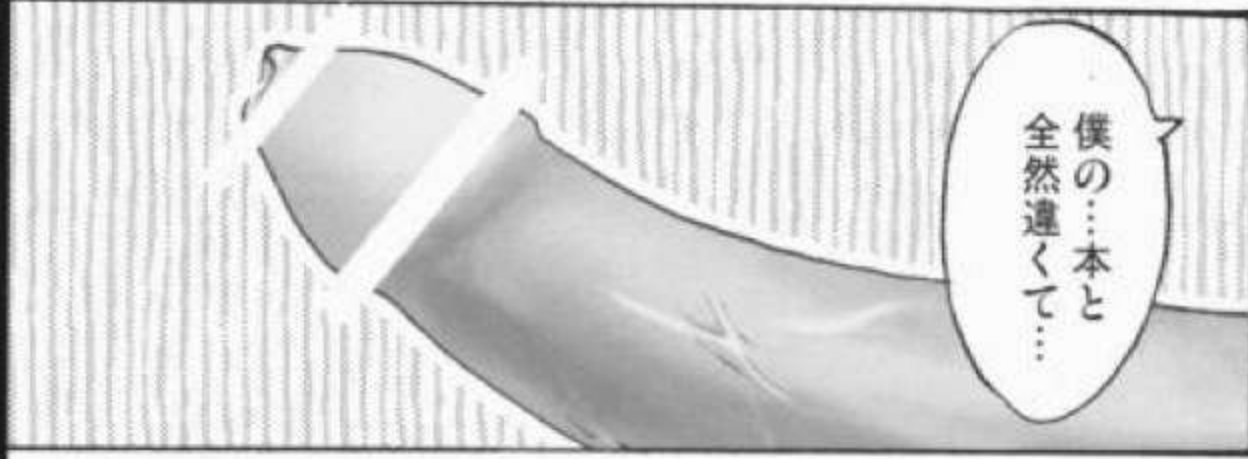
まだ剥けて
ないなんて

そんなに
ご立派なのに



...あらあら

まあまあ...



僕の...本と
全然違って...



もしかして
偉人の子
だから...?

違うから

やっぱり
何んか
の

ピン



ちゃんと私が
大人にしてあげる



これはまだ、
皮が剥けてない
だけなのっ!

む...
剥けて?

え、え...とね



とりあえず

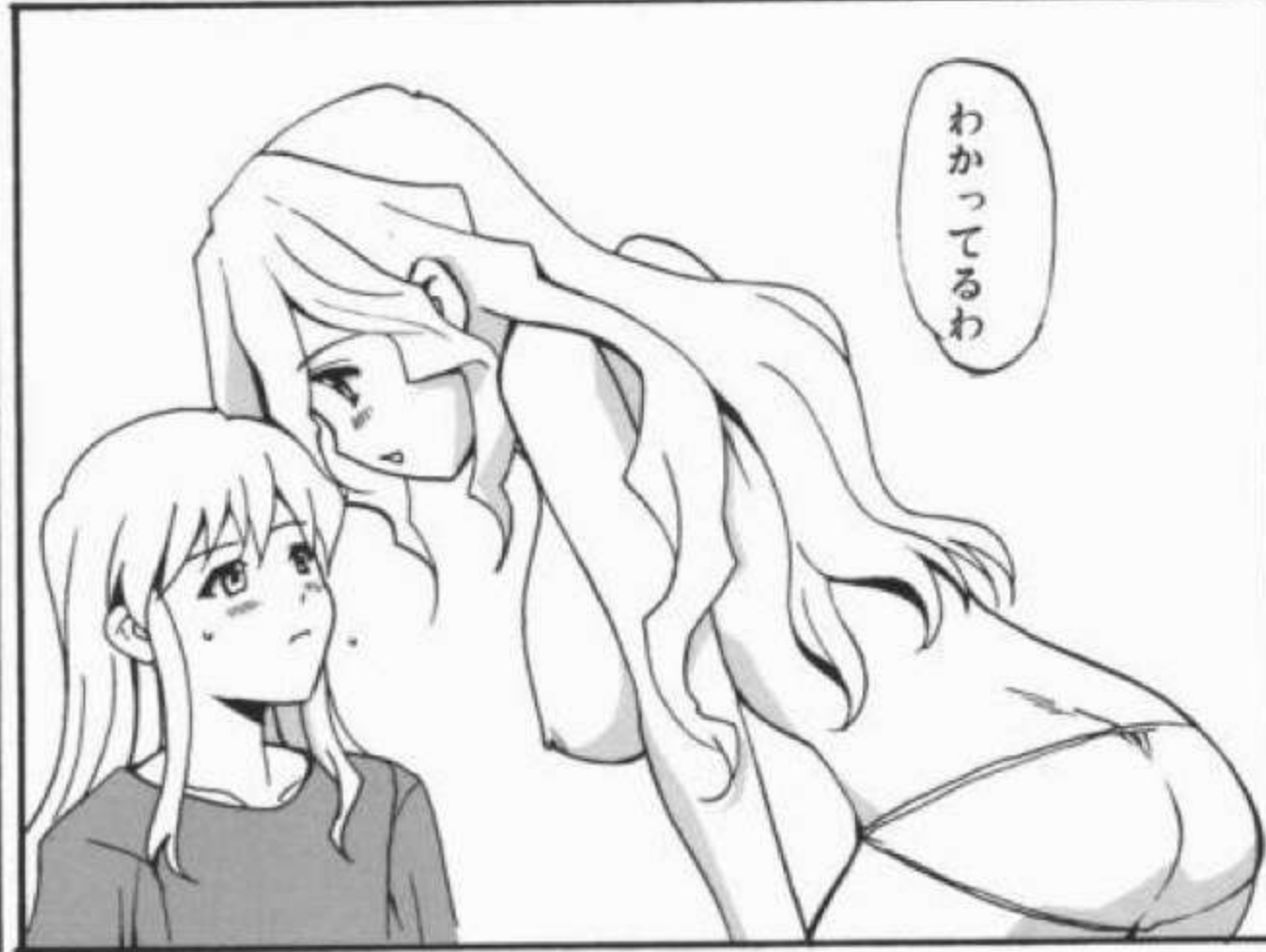
論より証拠



はむ

んっ...

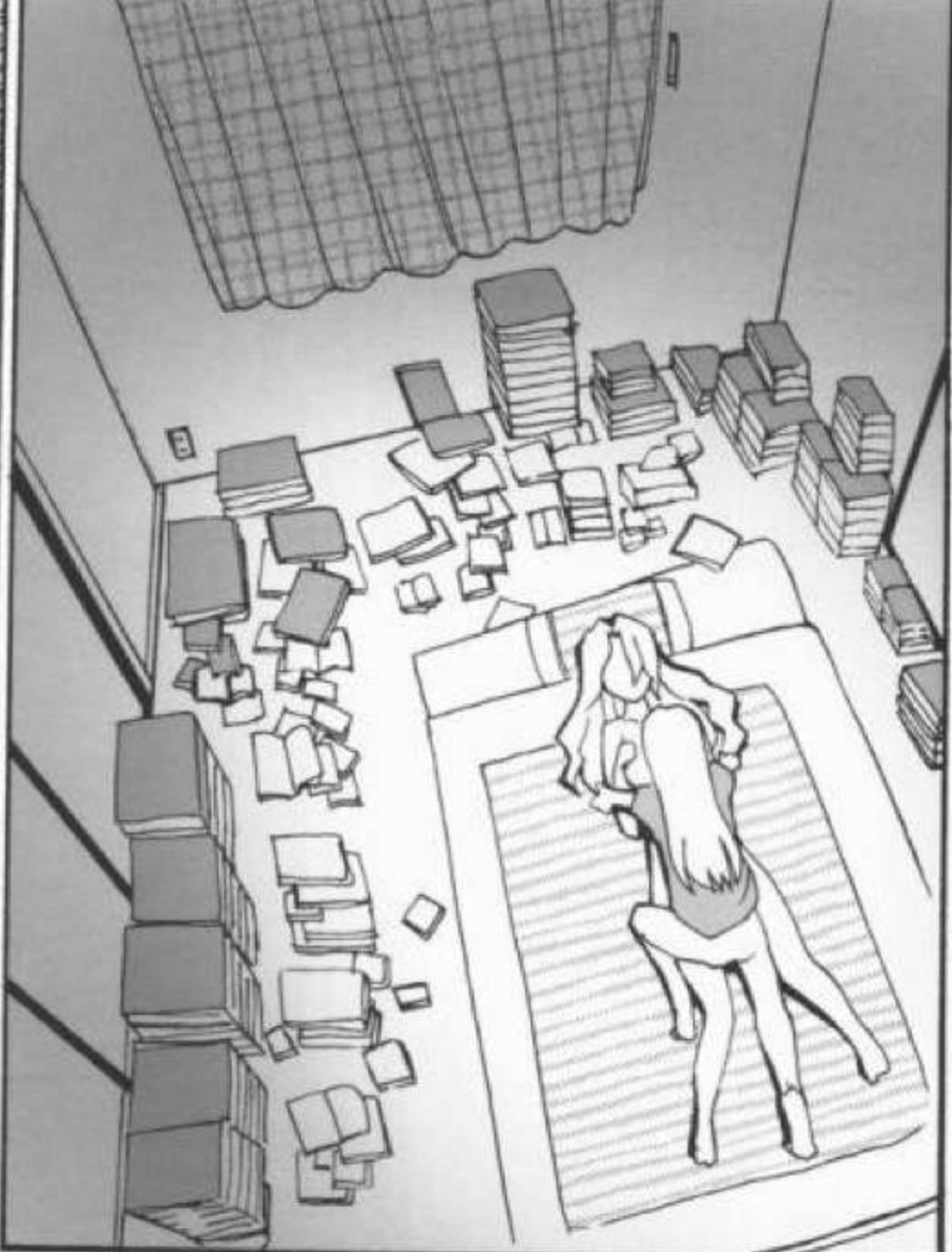






…入れる場所、
わかる？

ええと…



あッ…
そ、そのまま
来てっ



…ですか？



…



違…きょ
ちゅ…ア…

…待って



温かくて
溶けちゃいそうだ

すっ…



…それに…



ミシエールさんの
こんな表情、
初めて見た…



こうすると
ミシエールさんも
気持ちいいんだ



…っ、あっああっ!

んんんん

んん

んんんん



確かに
ジュニア君の
大人並に逞しいけど



気持ち
よすぎちゃう



イキそう

いっ
ちやいなう



それだけじゃない



こんなに余裕がない
Hって初めて



許して、気持ち
よすぎるの

いや...

ド
ザッ

好きなだけ
してもいいから...
少しだけ待って、
お、お願い

ま...待てる...

わっ

わっ

わっ

ジュニア君

ユミ

ジュニア

い



ミシエールさんのこと
独り占めにしたい



ジュニアくん…
私…

私だって…



ごめんなさい
ミシエールさん

僕、もっともっと
こうしていたい



貴方の
ことが…
ジュニア
君の事が…



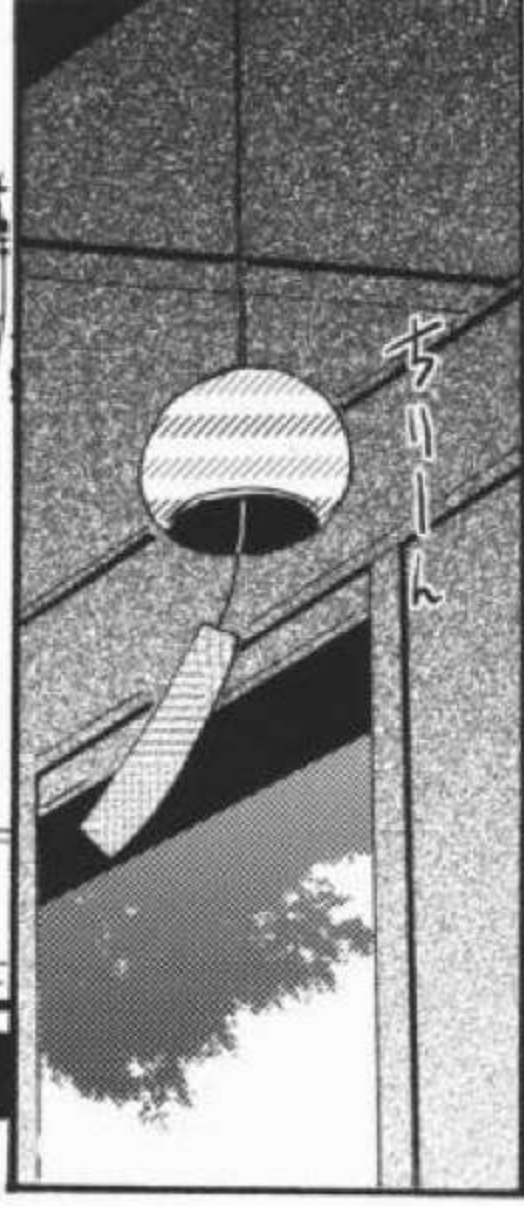


…すみません、僕、
夢中であんな
乱暴なことを…



あー、今日も
朝日が
黄色いわね

もちろ
んですよ



カリーン



それに私、いつか
ジュニア君と

こうなれば
いいな、って
思ってたから…



いいの。

私が誘ったんだから
気にしないでね



変じゃ
ありません

僕は、ミシエールさんが
好きです



普通に考えると
絶対変だと思う

でも私…



ジュニア君とは
倍くらい年も離れてる
のに、変でしょ？

僕がもっと大きくなるまで
待っていてくれますか？

そうしたら...

僕、必ず

ミシエールさんに
告白
しますから！



...はい。



あ、でも
待って

それまでエッチも
お預け？

つきみ喰いは
OKにしたの？

...僕、
昼ご飯
買ってきます

END



西園はるひの

とっげき！
隣の紙使い

—はんべら



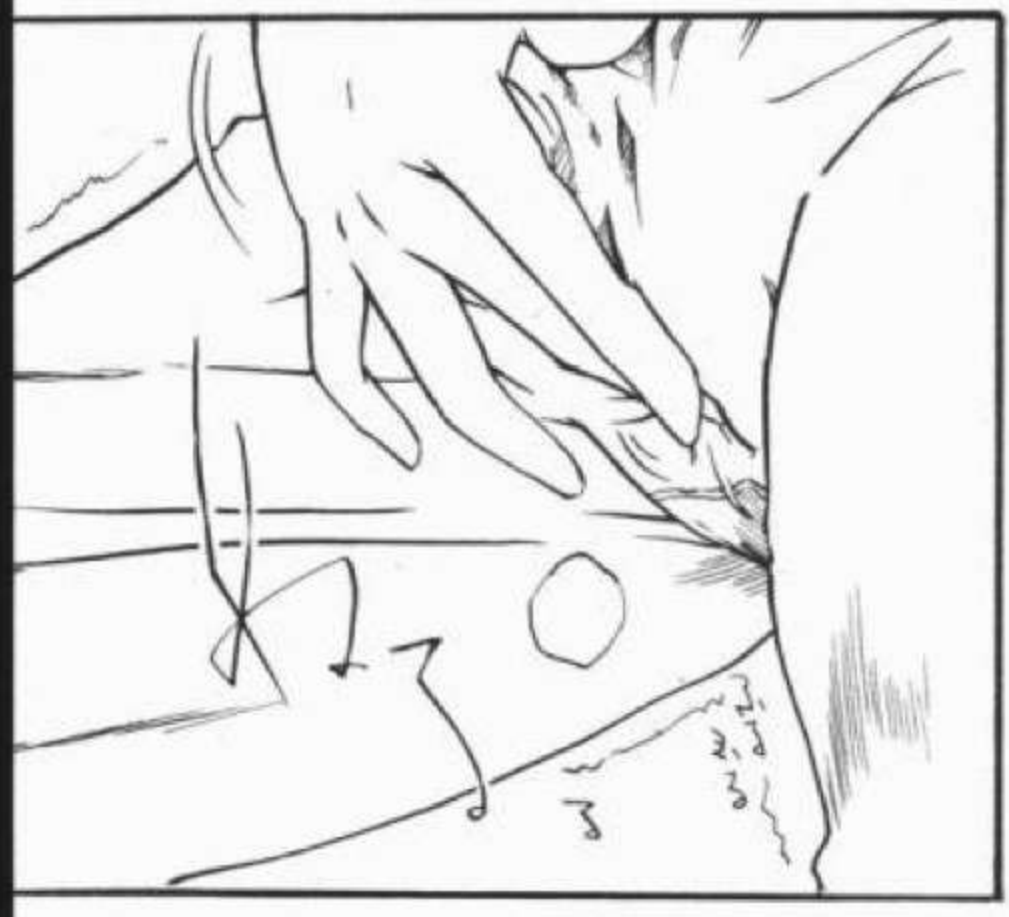
最近・・・
何をしても
一つの妄想が
頭から離れない



夢の中や
本を読んでいるときにさえ
その妄想で頭が一杯になって
・・・



体が熱く・・・



先に入っちゃって
・・・



マァ姉えりッ
お風呂空いたよー





興味も・・・
無かったはず
なのに・・・

あんな・・・
事・・・

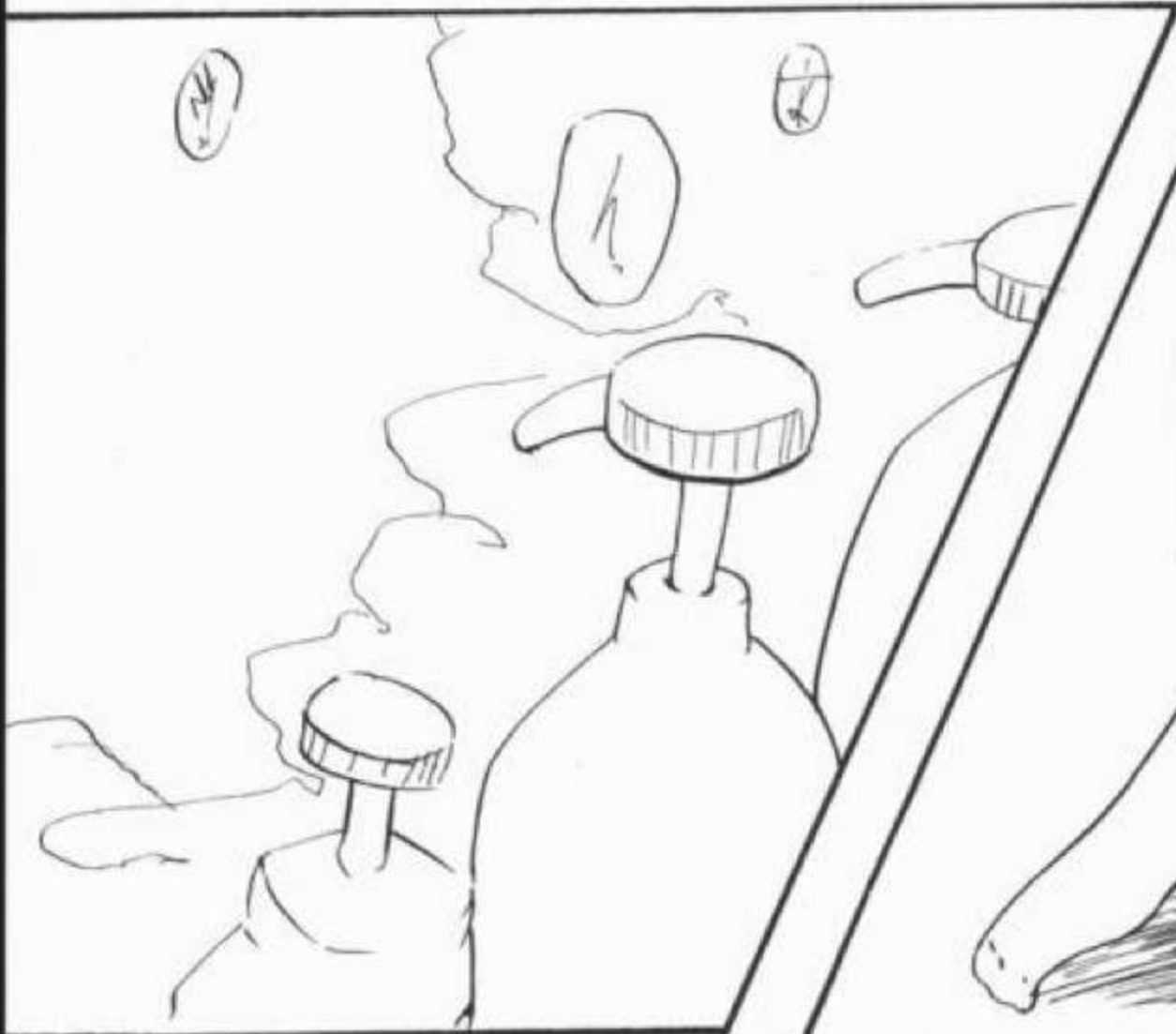
クキ

クキ



体が・・・
勝手に・・・

だめだ・・・



おっき
途中で止めたから・・・



クキ
んっ

クキ...



お背中
お流し
しまあ
っす!



(中略)
大ベストセラー
大人気作家の
西園はるひですっ

最新シリーズ
絶賛執筆中ッ

!?
にッ
にッ
にッ

はいッ

現在刊行中のシリーズも
大好評なのですが
作家としての幅と創作意欲の羽を広げ
新シリーズとゆう
大空に羽ばたく時がきたのですっ

あ、あの

いや
その

そう思い構想を練っていたところ
マギーさんッ!
あなたがその新作の
主人公像にひたりだったんです!
これもきっと私の作家性が引き寄せた運命
主人公の完璧なイメージをつかむため
マギーさんの全てを
こころ一周間
ずっと見ていたんですの

は？

それはもう食事の好み
一日に読む本の数
トイレの回数
睡眠時間

え

服を脱ぐときの順番
好みの下着
体を洗う順番・・・(以下略)
あ、ちなみに
今回の欲情が
止まらなくなったのも・・・

な・・・



マギーさんが
エッチなな娘になるように
私が書き下ろしたハーレクイン
を読んだからですッ!

★
マギーが
姉さん!

なんとゆうお人だ・・・

マギーさんの
一人エッチに
いくときの顔
キュートでしたあ!

ハッ★キュー!

そして今日は
仕上げとして
あなたの全てに触れ
感じあう為にきました

それがいい小説の
血と成り
肉と為る





じゃじゃーん

なっ

ヒーン

ヒーン...

創作意欲に駆られた小説家は
なんだってできるんです
これくらい
どうとゆうことはありません

小説家とゆうのは
作品の為になるなら
空も飛べれば
異次元にだって
いけるんですよ



それじゃ
姉さん





ああ
マギーさん

私の目は
正しかった

はひいっ

ああっ

うっ

あっ

ふあっ

んっ

ズ
ン
ズ

ズ
ン
ズ

ズ
ン
ズ

あ

あ

ふっあ
イッあ



あ

あ

ふあああっ
あああ

ヒュ
ハル
ハル

ズ
ン
ズ

ズ
ン
ズ

ズ
ン
ズ







編集後記

今回は完成までに色々な逸話があったのですが、
時間がないので多くは語れません。はんべら氏お疲れ様、Gさま、お手伝い有難う
そしてこの本を読んでくださっている貴方（貴女？）、ありがとうございました！
FTP入稿まであと10秒：木谷 椎でした。

奥付

Internal Error

本文発行日：2005年4月24日

発行者：日本帝國図書館

印刷：日光企画 様

STAFF：木谷権 / はんぺら / Ys-R

刊行：日本帝國図書館
FOR ADULT ONLY

